

# 河川基金助成事業

「エコユースやつしろチームの河川・水防災教育」

助成番号：2022 - 6111 - 003

次世代のためにがんばる会

代表者 松浦ゆかり

2022 年

## 【活動の目的】

2021年発足させた地域の高校生で組織する「エコユースやつしろ」への体験型活動を、河川・水・防災をキーワードにして、1年間を通じて河川・防災教育育成に取り組む。様々な専門家による川の安全教室、防災キャンプ、水についてのワークショップの参加、マイクロプラスチック調査などから見える川や海のごみ問題を認識し、自信をつけ、今後の企画を自ら運営ができる人材育成を行い、河川教育の展望を考えさせるもの。

## 【成果目標】

球磨川水害を体験し、様々に変化する「水」は、命を育む水であり、生活に必需の命を支える「水」でもあるが、時として命を奪う「水」にも変化をすることの基本的なことを川の専門家指導の体験型企画で学び取り、川に寄り添う暮らし方を理解し、地域住民へ学んだことを伝えることができる人材（青少年）育成。

## 【川づくりに活用することが期待できること】

青少年が、①専門家から水や川の自然体験教育を受け、川づくりを理解できる。  
②川の安全教室を学び、川は怖くないという認識を持ち、水難事故に対応できる。  
③自分の生活環境の場での防災知識を学び、地域住民への指導ができる。  
④プロジェクトWET研修における青少年が育ち、天候によるイベント変更時のサポーターが可能になる。

## 【活動内容】

- ① 2022年4月開催予定のアジア水サミットのテントブースなどで高校生の発表を想定して、場数を踏んで望ませる。
- ② 専門家指導の体験型学習会（低生生物観察会・野鳥観察会・植物観察会・身近な河川の水質調査・干潟観察会・水の歴史散策学習会・水防災ワークショップ）に参加。
- ③ 八代海河川・浜辺の大そうじ大会の企画・運営。
- ④ 川の安全教室と防災キャンプ体験。
- ⑤ 球磨川河口の魚の腹からマイクロプラスチック調査研究し、データーを採り、成果発表会やSNSで情報発信。
- ⑥ 防災マップ学習と防災フェスタ・防災講演会の企画・運営。
- ⑦ 「青少年水サミット2022 in 八代」参加。
- ⑧ エコユースやつしろ海外のユースとの意見交換会。
- ⑨ 1年間の「成果発表会」を市民啓発として青少年が自ら企画。

## 【実績】

第4回アジア太平洋水サミット公式の場でメンバー17人が、2日間活動発表ができた。年間20企画の体験活動（説明会30人・田んぼの生きもの調査25人・干潟観察会50人・マイクロプラスチック検査のための魚捕りと試験実験2回（21人）・マイクロプラスチック検査（50人）・水防災研修（23人）・八代海河川・浜辺の大そうじ大会（662人）・不法投棄視察会（19人）プロジェクトWET講座（27人）・微生物講演会（26人）・水の歴史散策学習会（20人）・水防災フェスタ（335人）・野鳥観察会（13人）・球磨川河口わかめプロジェクト講演会（10人）・海外ユースとの情報交換会2回（33人）等を行い、発表会関連では専門家の多種多様なオンライン講演会（9回：50人）の受講を学び、青少年水サミット（50人）地域住民に向けてた市役所ロビーでのパネルセッション（28人）・成果発表会（47人）などの場数を踏ませ、市民への環境問題啓発、活動紹介もできた。  
さらに、沢山の知識が備わり発言できることから、県内外の公募、日本各地の発表会（5件）、コンテスト（2件）で活動発表に登壇。

## 【成果】

- ・エコユース八代メンバーとしては「第4回アジア太平洋水サミット」公式場で、半年以上かけて海外のユースや英語、干潟の専門家とのオンライン上での指導も受けながら完成させた3分動画を放映しながらの説明が高講評を得た。その成果がきっかけとなりメンバー全員が自信をつけ、体験学習の企画運営や、スタッフとして活躍できる人材に育っている。また、公的な場で発表することや、地元ラジオ番組で感想を述べることで、コミュニケーション能力や大人と対話することの難しさも体験しつつ、エコユース八代の体験活動を経験したことを自分自身の振返りとなった。
- ・全国的な地域紹介やSDGsに関する3分動画作成に挑戦することに対し、地域を自分の足で学び、情報発信の知恵も備わっている。当会の活動としては、教育関係の出前授業や相談が多くなり、また、メンバーからも様々な環境問題への改善方法の相談もよく受けるようになり、地域保全への考えも充実している。

## 【具体的な成果】

- ・第4回アジア太平洋水サミット公式場に17人が2日間発表
- ・年間20企画の体験活動に参加・普及啓発 年間参加者数：1,459人
- ・八代海河川・浜辺の大そうじ大会参加者662人・ごみ回収1トン
- ・高校生による児童への授業2校（高校生48人・小学生178人）
- ・知識取得として、海外ユースとのオンライン会（2回）や日本各地専門家オンライン講演会（9回）開催。
- ・発表の場①青少年水サミットin八代②市役所ロビーでのパネルセッション③成果発表会④国内イベント登壇（5件）・コンテスト登壇（2件）
- ・情報小冊子500部・EYU小冊子2000部の2種作成、2作品の英語版動画作成

## 【今後の展望】

今年度高校を卒業し大学生になる1期生も「大学生会員」として参加させ、指導者的立場で続けてもらう。また、エコユース八代メンバーの兄妹の参加希望の声もあるので、親の許可を貰えた中学生でも参加可能にし、多世代の組織を繋がっていく。今後も様々な分野の専門家を招聘し、沢山の知識を学び高めるには学知と経験知が不可欠であり、環境学習という具体的なテーマのもとに、学知と経験知の融合的増強を目指すというこの運動を企図し推進していく。さらにメンバーが地域の児童へ指導を行うことで、自ら学び、教えることの難しさを経験し、さらに成長して地域住民へ学んだことを伝えることができる人材（青少年）育成を目指していく。

## 【連携組織】

- 1) 青少年育成のための授業及び指導・大学教授（東京大学・九州大学・熊本大学・長崎大学・崇城大学・熊本高専八代キャンパスなど）
- 2) 青少年育成授業の受入れとサポート・八代市内の高校・高専（熊本高専八代キャンパス・八代高校・八代工業高校（定時・夜学）・八代農業高校・八代東高校・八代清流高校・秀岳館高校・八代白百合学園高校の8校）・市内の小中学校児童
- 3) 青少年育成の企画・運営サポート・国土交通省九州整備局・八代河川国道事務所・熊本県環境立県推進課・水保全課・農林水産課・八代市環境課・土木課・農林水産課・㈱インフラ・ラボなど
- 4) 連携団体ラムサールネットワーク日本・八代野鳥愛好会・八代植物友の会・八代青年会議所

## 〔計画の妥当性〕

高校生で組織する「エコユース八代」の体験型活動を、河川・水・防災をキーワードにして、1年間を通じて河川・防災教育育成に取り組んだ。特に刺激があったのが宮崎五ヶ瀬での専門家による川の安全教室、畳提見学は、ユースには初体験であり、五感で水防災を学んだ。またプロジェクト WET 講座も高校生 17 人高校教諭 2 人成人 2 人共に世代間交流も持ちながら受講した。その後、高校生でエデュケーターとなった生徒をメインとして地域児童への水をテーマに防災教育も盛り込んだ授業をした。人に教えるという難題に、自ら考え、指導することの重要さも感じていた。地域の魚の腸のマイクロプラスチック調査などから見える川や海のごみ問題を解決していく課題を認識したようだ。

## 〔当初目標の達成度〕

球磨川水害を体験し、様々に変化する「水」は、命を育む水であり、生活に必需の命を支える「水」でもあるが、時として命を奪う「水」にも変化をすることの基本的なことを川の専門家指導の体験型企画で学び取ることを企画したが、宮崎での防災研修や、プロジェクト WET 講座での「水防災」で学んだこと以上に、「水防災フェスタ」では博多から応援に駆けつけて下さった団体の意気込みに圧倒されたが、学ぶことが多く、災害の怖さや対処法をたくさん学べた。日頃からの避難所、自助・共助の大切さを真摯に学ぶことができ、目標御以上の達成だと思う。

## 〔助成事業の効果〕

・エコユース八代で行った専門家による体験活動は地元高校の探求授業や部活での研究題材となり、様々な発表会で学校を代表として登壇者が多く出ている。体験活動の振返りとして地元ラジオ番組に1年間にグループで全員を出演させ、体験したことの感想などを公共にアピールさせた。また、1年間の企画ポスターをパネルにして市役所ロビーでのパネルセッションをさせ、自らの言葉で地域の問題を訴え、改善の考えや、未来構想などを説明することで、コミュニケーション能力と成果を可視化させることができた。

・球磨川の水について体験しながら学ぶことで、身近な河川への愛護もできると確信した。球磨川にはたくさんの教育関係があるが、災害を受けたことによる防災意識も高まり、また反対に川は命の水になることも教え、川は「災い」と「恵」の両方を持ち合わせていることも気づかせなければならないと思う。

・水の関する歴史散策学習会では球磨川の水防災や堤防の仕組み、地元の八の字堰などを専門家と廻り学んだことを「ユース水フォーラム動画作品」に仕上げた。その素材集めや、専門家へのヒアリングも行いながら自ら撮影、編集したりして、球磨川の価値を十分理解している。このように動画を作ることで地元の河川を知り、情報発信することの目標を持たせ、体験活動をすることの重要性も学べているようだ。

## 〔キーワード〕

- ・地域の河川の歴史散策後の地域紹介動画の作成
- ・水防災：川の安全教室と畳提見学
- ・高校生が小学生への出前授業
- ・専門家による多種多様な講演会や体験型学習会
- ・地域への情報発信とコミュニケーション能力

## 活動詳細

### 【1】第4回 アジア太平洋水サミット公式展示コーナーで体験活動発表

期 日：2022年4月23日（土）・12:00～18:00 24日（日）11:00～17:00

参加者：エコユース八代メンバー15人・スタッフ、引率者6人：2日間 合計40人

内 容：熊本市内で開催された第4回アジア太平洋水サミットで、国土交通省八代河川国道事務所と協同展示ブースで八代の魅力を紹介した。また、2021年7月から体験学習をしてきたことを3分間の英語版動画にして発表もできた。この体験を機に、メンバーの発言力とコミュニケーション能力が進化していくことになる。

\*この企画をまね、12月23日・26日市役所ポスターパネルセッション発表を開催。



4月6日 15:30～  
協同展示打合せを八代河川国道事務所出おこなった。



4月7日（木）11:00～  
アジア太平洋水サミットに参加することを  
八代市副長へ報告



4月7日 17:00～18:00  
地元ラジオ生放送で紹介することを紹介



4月23日（土）・24日（日）終日  
アジア88か国からの来場者に英語で説明



八代河川国道事務所所長と記念撮影



八代河川国道事務所と共同展示ブース



**ECO YOUTH YATSUSHIRO**  
 エコユースやつしろ **メンバー募集!!**  
 Let's connect Yatsushiro with the World! **メンバー募集!!**  
 やつしろを体験、感動、学び、そして情報発信!!

八代には、私たちに様々な恩恵を授けてくれる球磨川が流れています。その河口には、生態系豊かな干潟が広がっていて、毎年多くの渡り鳥が訪れます。ECO Youth Yatsushiroは、水環境や干潟の幅広い知識を学び、「水」に関する環境保全意識を高めて世界に向けて発信する八代の高校生を募集します！一緒に八代の自然環境を通した学びを体験してみませんか。誰でも気軽に参加できます！

**募集概要**

- 説明会 / **5月21日** 16:00~17:30
- 会場 / 桜十字ホールやつしろ 会議室B 八代市新町5-20 TEL0965-53-0033
- 募集対象 / 高校生 ● 申し込みはメールのみ / [kankyo@eco-yukarin.info](mailto:kankyo@eco-yukarin.info)
- 募集締め切り / 5月20日 ● メンバーは全てのプログラムに参加できます(無料)

**八代の環境問題を「水」をキーワードに学ぶ体験型プログラム**

**Program 2022**

- アジア太平洋水サミット 4月23日(土)・4月25日(日)
- エコユースやつしろ説明会 5月21日(土) 10:00~12:00
- 田んぼのいきもの調査 6月11日(土) 10:00~12:00
- 魚捕獲 6月11日(土) 13:00~ / 水無川
- マイクロプラスチック調査 & 大島干潟観察会 6月25日(土) 9:00~12:00 / 大島海の家
- 防災キャンプ 7月16日(土)・7月17日(日) / 宮崎県五ヶ瀬
- 八代海河川沿辺の大そうじ大会と野鳥観察会 7月23日(土) 9:00~12:00 / 南川干潟
- 不法投棄調査 7月23日(土) 13:00~ / 日奈久栄町~平和町
- 微生物ワークショップ 8月11日(木・祝) 10:00~12:00 / 桜十字ホール

**Program 2023**

- 青少年サミット2022 in八代 10月29日(土) 10:00~15:00  
 ・干潟といきもの・地域と環境保全・歴史の横断物・河川と水防災  
 ・オンライン(一部会場)
- 野鳥と干潟ワークショップ(エコユースやつしろ・外国ユース) 12月17日(土) / オンライン

**Program 2023**

- 防災フェスタ 1月21日(土) 13:00~16:30 / 桜十字ホール
- 講演会&成果発表会 2月26日(日) 場所未定

※スケジュール・内容は変更になる場合があります。時間、会場、定員、持参品などの詳細は事前に、次世代のためにがんばる会HP <https://www.ganbarokai.net/> でご確認ください。  
 ※新型コロナウイルスの状況により、各プログラムがオンラインに変更になる可能性があります。

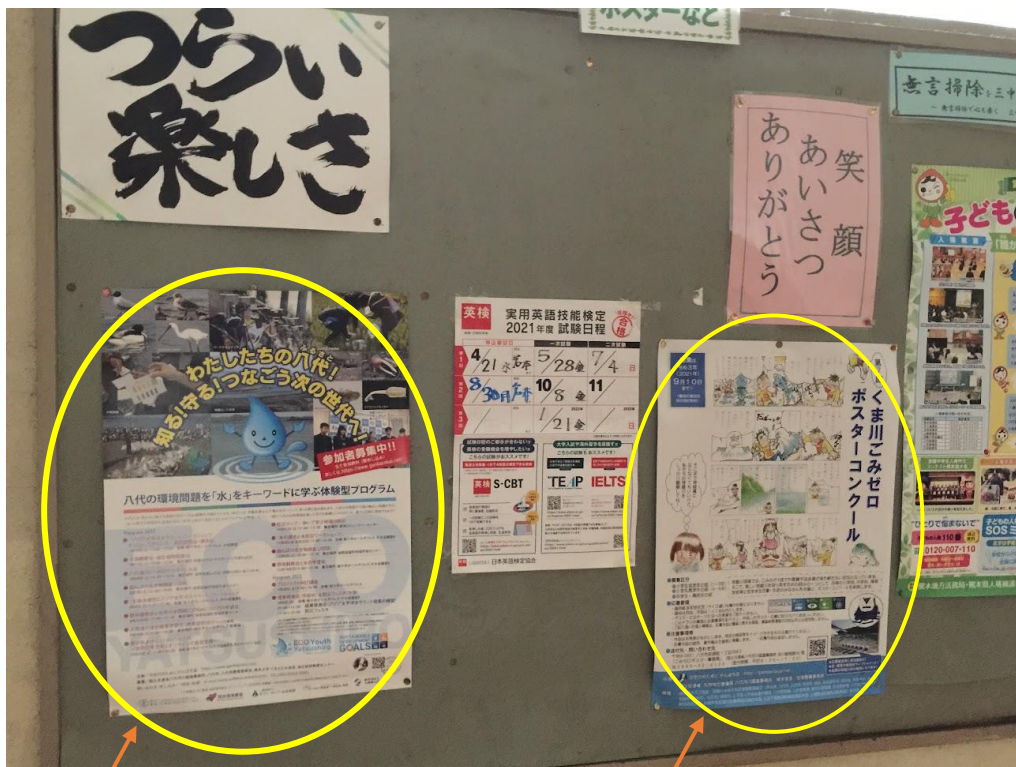
**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

主催 / 次世代のためにがんばる会 <https://www.ganbarokai.net/>  
 後援 / 国土交通省八代河川国道事務所、八代市、八代市教育委員会、熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター  
 問い合わせ・申し込み / E-mail: [kankyo@eco-yukarin.info](mailto:kankyo@eco-yukarin.info) TEL080-5253-5081 (担当:松浦)

ECO Youth Yatsushiroは、河川基金、地球環境基金、セブン-イレブン記念財団の協力を授けて実施されます。

河川基金 公益財団法人河川財団による 河川基金の助成を受けています。  
 地球環境基金 Japan Fund for Global Environment  
 一般財団法人 セブン-イレブン記念財団

年間計画を入れた「エコユース八代メンバー募集」ポスターを市内全高・中・小学校に配布



当会のポスターが、一年中 八代市立第三中学校の廊下に貼ってある

## 【2】エコユース八代説明会

期 日：5月21日（土）10：00～12：00

会 場：桜十字ホール八代 研修室

参加者：エコユース八代1期生8人 新規メンバー候補者18人スタッフ4人計30人

内 容：エコユース八代の目的及び年間活動の紹介をエコユース八代1期生が説明。

第4回アジア太平洋水サミットに参加するまでの体感活動を盛り込んだ動画作成や、自分なりの興味を持った活動を紹介してくれた。

結果、エコユース八代2期生、18人が登録した。



市内の高校生が参加



エコユース八代1期生が進行役

## 【3】マイクロプラスチック検査用魚捕獲体験とマイクロプラスチック検査試験

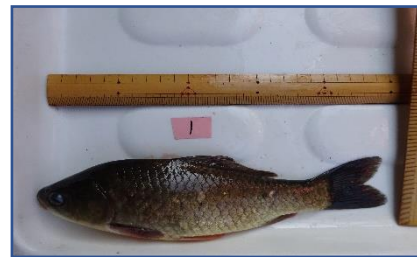
期 日：年5月14日・5月28日：魚捕獲・6月11日（試験的実験）6人

場 所：八代市古麓町界限の水路・解剖は濱田会員宅の庭

参加者：エコユース八代1期生5人・スタッフ5人・地元住民5人 2件 計21人

内 容：マイクロプラスチック検査の準備段階で、魚を水酸化ナトリウム水溶液に2週間漬けておくために、地元の河川2カ所で魚を捕獲した。水無川ではなかなか捕れず、用排水路に移動してギンフナ・オイカワ・カワムツ・ドンコ他、スッポンも捕獲して解剖をした。

2  
週  
間  
漬  
け  
る



マイクロプラスチック検査実験のための魚捕獲



捕獲した魚を解剖し、2週間可塑液に漬ける

#### 【4】田んぼ生きもの生きもの調査とマイクロプラスチック検査用魚の解剖

期 日：6月11日（土）10：00～12：00  
 場 所：無農薬農家：杉山宅田んぼ（八代市古閑中町）  
 参加者：エコユース八代2期生15人スタッフ8人  
 一般参加者2人 合計25人  
 内 容：八代市古閑中町の杉山さん宅の無農薬田んぼを借りて、崇城大学の宮坂教授、顧問の川口氏を講師として、生きものを採取し調べ生きもの生態系について学んだ。6月25日に開催する「マイクロプラスチック検査」のための、魚の解剖も実施した。エコユース八代や一般参加の小学生は、初めて見るいきものに感激しながら、「球磨川の水が多様な生きものの育成に必要だと思った。」などの感想を述べてくれた。



生きもの調査中



魚の解剖をするメンバー



参加者記念撮影

#### 【5】マイクロプラスチック検査と干潟観察会

期 日：6月25日（土）9:00～12:00  
 参加者：エコユース八代18人・希望高校23人  
 大人1人・講師3人・スタッフ5人 合計50人  
 場 所：八代市大島町海岸と緒方印刷海の家  
 内 容：神奈川でマイクロプラスチック検査をされているNOP法人Rira理事の伊藤氏にお越しいただき、崇城大学宮坂教授を講師に実験を行った。2週間前に捕獲していた（5/18）魚の腸を苛性ソーダーに漬け、2週間後の腸をマイクロスコープ顕微鏡で観察した。後半の干潟観察会は、落雷のため簡単に終了したが、初めて干潟に来た参加者は残念がっていた。干潟には絶滅に近づきつつある生物も来るそうだから、そのような生物たちの憩いの場を守るための活動をしたと思いました

※参加者の声はアンケート集をご覧ください！



事前に会員だけで試験検査



マイクロプラスチック検査中



干潟観察会集合写真(大島海岸)



## 【6】水防災研修 in 宮崎

期 日：7月16日(土)・17日(日)

参加者：エコユース八代16人・講師ほかスタッフ7人 合計23人

場 所：宮崎県延岡市牧町河口付近埋立地内資料館「リバーパル五ヶ瀬川」

内 容：令和2年豪雨災害を受けた八代地域で暮らす青少年を対象とし、水害に対応する知識や、九州各地の河川協力団体の取り組みを学びたいと思い、川で活動するにあたり関する、正しく広範な知識・情報を青少年が学べるように、河川協力団体(五ヶ瀬川流域ネットワーク)の協力を得て実施。

講師、協力団体

- ・NPO法人五ヶ瀬川流域ネットワーク 山田大志
- ・他、NPO法人指導者

見学地：コノハナロード・豊堤・アユやな



### EYYの感想から

- ・1日目のカヌーは人生初の体験があり、いつもとは違う視点から川を見ることができてとてもおもしろかったです。五ヶ瀬は球磨川にはない川の水を調節する司令塔みたいなものが有って、その川に対する情熱を感じました。
- ・今日の企画は自然、特に川に対して触れ合える企画であり、明確なコンセプトが見えてよかったです。
- ・川は、私たちにカヌーなどの娯楽を与えてくれると同時に水害の原因ともなることを学んだ。また川でおぼれた時の救助方法があることに驚いて、いい体ができた。

参加者へ配布したパンフレット(表面) ↓

川の安全教室 ↓



初めてのカヤック体験で歓声！

参加者へ配布したパンフレット(裏面) ↑

## 【7】第 18 回八代海河川・浜辺の大そうじ大会

期 日：7月23日（土）9:00～12:00

参加者：エコユース八代 24人・市内高校生  
約 600人・企業一般参加 30人・  
スタッフ 8人 合計約 662人

場 所：八代市北平和町：球磨川河口浜辺

内 容：八代市内の高校や一般に呼びかけて開催。  
毎年恒例となり市内の6つの高校から600人の  
参加希望者と、企業3社、一般親子、スタッフ総合  
計約660人のごみ拾い大会となった。

今年度はEYYメンバーが役割分担で参加者の誘導や活動  
手順説明、記録班、インタビュー係を行い、大人数を動  
かすことの難しさに驚いていた。

役割：受付・司会・道案内・記録係（動画・インタビュー・デジカメ）・ごみ分別など



### EYYの感想

- ・人間の物を海に捨てるという、身勝手な行動で魚などに悪い影響を与えているということを改めて感じた。
- ・人の多さとごみの多さに驚き、人を動かすことの難しさに苦労した。



## 【8】不法投棄視察会

期 日：7月23日（土）13:00～15:30

場 所：八代市日奈久栄町～北平町の護岸

参加者：エコユース八 16人・スタッフ 3人  
合計 19人

内 容：八代海護岸（テトラポットの中）に捨てられているであろう大型・大量のごみを視察。

日用品・大型液晶テレビ・真新しいベビーカー、中には家庭ごみを燃やした形跡もあり、EYYメンバーは驚きと怒りの言葉が多く聞こえた。「この現実をどうにかして市民へ伝えたい」と市役所パネルセッション発表に繋がっていく。



護岸テトラポットの中を調査するメンバー↑

## EYY の感想から

- 一人ひとりが考えて行動し、不法投棄などが無くなるとういなど思明らかに故意的なものだと思うので、地域住民の方々への啓発も必要だと思う。



## 【9】プロジェクトWET 講座

期 日：8月8日(土) 9:00～15:30  
 場 所：桜十字ホール八代会議室  
 参加者：高校生 17人・教諭 2人・大人 2人・  
 ファシリテーター4人・講師 3人：合計 27人  
 講 師：Project WET Japan 菅原 氏  
 ファシリテーター 倉嶋真司氏  
 ファシリテーター 松浦ゆかり  
 内 容：使用アクティビティ  
 1. 驚異の旅 2. 青い惑星 3. 大海の一滴  
 4. ブルービーズ 5. 8人がひとりのために、  
 ひとりがみんなのために  
 ピアティーチング 1 ジョン・スノー博士とコレラマップ  
 ピアティーチング 2 ハンプティダンプティ  
 ピアティーチング 3 水資源保護をめぐる 別冊 P196  
 ピアティーチング 4 アクアボディ  
 修了人数 20人 エducーターサポーター 4人  
 (高校生 17人・教諭 2人・大人 1人)



倉嶋氏の説明 →

日頃より地域の教育関係と共に活動をしていることで、担当教諭やエコユース八代メンバーにメールだけで参加者が募れた。

演習者の大半が高校生であるため、理解しやすい副教材（パワーポイント）の準備をしたり、班を分ける際にも日ごろからの友人を会えて外し、各班の仲間づくりを目指した。エドゥケーターになり、次のステップアップを目指したい。という声があくつか出ていたので、将来は八代でもファシリテーターが増えていくような気がする。



松浦による「水」の講話



エドゥケーター取得者 20人



青い地球のゲーム



大海の1滴説明



ブルービーズゲームで大賑わい

## 【10】微生物講演会とワークショップ

期 日：8月11日（木・祝）10:00~12:00

場 所：桜十字ホール八代研修室

参加者：エコユース八代 17人・市内高校生 6人

講師・スタッフ 3人 合計 26人

内 容：崇城大学教授の宮坂教授による微生物、環境ホルモンについて講演と、ポーチュラカの実験をした。

### EYYの感想から

水を汚染せずに生き物たちが住みやすい環境をつかっていきたい。私はきれいな水や自然をこれからの時代に受け継いでいきたいと思っています



講演を聞く高校生たち



ポーチュラカによる環境ホルモン接種実験

## 【11】水の関する歴史散策学習会

期 日：9月23日（金）9:00~16:00

場 所：八代市内球磨川流域歴史カ所

参加者：エコユース八 14人・講師 2人・

スタッフ 3人・一般 2人 合計 20人

講師：星野裕司准教授・田中尚人准教授

内 容：球磨川流域の堤防や日本遺産に登録された、歴史的建造物を熊大の2人の先生の解説で散策できた。八代のことを知っているようで、専門家からの解説に「初めて知ることばかり」とメンバーには驚きがあった。この企画は毎年好評であり、今後とも続けていきたい。



## EYY の感想から

- ・球磨川の堤防にいろんな工夫が有って、昔の人々の知恵や工夫を知ることができたので、それらを大切にしていきたい。
- ・球磨川は八代にとって重要な場所。水を守り、生き物の多様性も守り、きれいな球磨川を後世に残していきたい。
- ・今日の水の散策学習を通して八代の発展の陰に水が有った事に、また石工達の血の滲むような苦労が有ったのだと感じました。
- ・堤防や橋など詳しく見たことが無かったので、新たな発見や知識などが増え、より八代の事を知れて良かった。



球磨川の橋について解説



樋門で記念撮影

## 【12】第3回青少年水サミットin八代

期 日：10月29日(土)10:00～15:00  
 場 所：エコイトやつしろ：八代市港町  
 参加者：講師（会場6人・オンライン3人）  
 EYYメンバー9人・スタッフ9人  
 オンライン参加者23人 合計50人

内 容：3つのセッション会場でテーマを設けそれぞれにEYYメンバーが司会・挨拶・最後の感想と謝辞の役割を持たせて開催した。EYYメンバーも初めての運営に戸惑いながらもよき体験となった。講師の講演内容も初めて聞く内容ばかりだったようで、オンラインでの講演会催促希望があり翌月に開催した。最後は全員が一つの会場に集まり、互いに考えを述べて、多数の討論ができた。EYYメンバーにとっても学校では体験できない討論会など感動した感想も多く聞こえた。



セッション1会場  
 テーマ「地域の宝物」



セッション2会場  
 テーマ「持続可能なまちづくり」



セッション3会場  
 テーマ「河川と水防災」

## EYY メンバーの感想から

- ・ 普段、学校では聞けないような専門的で時代のニーズに合った話を聞くことができ、様々な視点から「環境」にアプローチしていたため、視野が広がった。自分の住んでいる地域なのに知らなかったことが多く、もっと学ぼうという気持ちになりました。
- ・ 環境と経済を共立させる上で重要な事は、個人・行政・企業が協力して解決しようとする思いが大事と知り、その通りだなと思った。
- ・ 色々な分野の講座を受け、ディスカッションをしたことを通して、「環境」のことで多面から考えることができた。八代の大切で素晴らしい水環境を守り、共生していくために、今後もこのような活動を通して沢山学び、活動を頑張ろうと思った。
- ・ 司会や進行も初めてやったが、とても勉強になった。



講師陣の質問に真摯に答えるメンバー



多様な専門家の講演と質問

### 【13】八代市役所ロビーパネルセッション発表

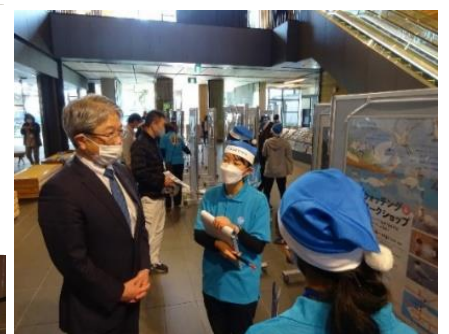
期 日：12月23日（金）・26日（月）

場 所：八代市役所ロビー

参加者：エコユース八代 21人・スタッフ 7人

合計 28人

内 容：1年間の体験学習をパネルにして、市役所ロビーで12月23日～1月13日まで展示した。その際に23日と26日にエコユース八代メンバーが参加した感想をパネルの前で説明するもの。これは、第4回アジア太平洋水サミットの公式展示会場での体験を、2期生にも経験させ、市民への体験活動の紹介や、大そうじ大会・不法投棄視察会に参加しての啓発も兼ねての発言とした。さらに、コミュニケーション能力も高めることも出来た。



副市長へ説明するメンバー

## 【14】バードウォッチングと渡り鳥ワークショップ

期 日：12月3日(土)13:00～16:30  
 場 所：球磨川河口（南川河口干潟）  
 講 師：高野茂樹先生・松本悟氏  
 参加者：EYYメンバー6人・スタッフ5人 計13人  
 内 容：最初に干潟で野鳥観察をし、会場に移動して高野先生の長年の渡り鳥のデーターを基にした講演会と松本氏による渡り鳥ワークショップを開催した。



クロツラヘラサギ発見！



ワークショップで意見発表



### EYYの感想

- ・八代の環境や生き物の素晴らしさについてエコユースの活動を通じて学んで、八代は他の地域にはないものをたくさん持っているのだと実感している。
- ・八代の地元の人にもっと八代の良さを知ってもらえるように活動していきたい。
- ・他人事になってしまうことが多く、川や自然を守ってくださる方がいることで、今の球磨川が有るといふ事を再認識できました。

## 【15】水防災フェスタ

期 日：2023年1月21日(土)10:00～15:00  
 場 所：桜十字ホールやつしろ 多目的ホール  
 講 師：講演会：松永昭吾氏  
 指導：博多あんしんリーダー会  
 共催・後援 国土交通省八代河川国道事務所・熊本県土木課河川課・八代市危機管理課  
 参加者：講師・指導者25人・EYYメンバー2人  
 スタッフ5人・来場者 総合計335人  
 内 容：博多の防災士団体による20のメニューと国土交通省八代河川国道事務所の浸水ドア体験、熊本県のマイタイムラインの紹介、八代市役所の危機管理課より非常食を貰い実演した。会場には令和2年豪雨災害時の記録や対策のパネル、支援者の記録パネルも展示した。



防災リュックの説明を受ける EYY



八代市長 浸水ドアを体験



全員写真

## 【16】わかめプロジェクト講演会

期 日：2月8日（土）10:00～12:00

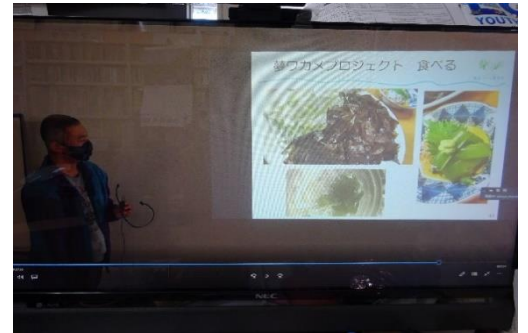
場 所：八代市おまつりでんでん館

講 師：増田龍哉先生

参加者：EYYメンバー3人・教諭2人・大人2人  
スタッフ2人 合計10人

内 容：東京湾でアマモ・わかめプロジェクトの理事をされている増田先生に、活動のノウハウを講演していただいた。元熊本大学で八代海・球磨川河口の生きもの調査もされていた経験から、「八代海でもアマモやワカメの養殖が可能であるか」との質問で盛り上がった。

次年度春に現場での調査や適性箇所の散策も依頼した。参加者の漁協者から、「いつも海で藻類を感覚でしか養殖・生産をしていなかったのが、根拠となる数値があれば助かる。」との意見に対し、八代高校教諭生物部指導者から「是非調査に協力したい」との声もありこの講演会が次の活動へ繋がる期待がした。



## 【17】エコユース八代成果発表会

期 日：3月12日（日）9:30～14:00

場 所：おまつりでんでん館伝承ルーム

講 師：・コーディネーター：出水享先生

- ・環境省：大嶋恭子氏・中原夢来咲氏
- ・国土交通省：田脇康信氏
- ・八代市環境課：上村優子氏

質問者：・国土交通省八代副長：佐藤和幸氏

- ・熊本県港湾局長：里村真吾氏
- ・熊本大学：宮瀬美津子教授
- ・国土交通省八代河川：高場課長・馬場係長
- ・顧問川口芳人氏オブザーバー：吉竹千保氏

参加者：講師と質問者11人・EYYメンバー23人

・スタッフ8人・一般3人 合計47人

内 容：1部はメンバーによる1年間の体験発表及び高校3年生は今までの体験発表会。各メンバーそれぞれに感じたことを3分で発表し、講師や質問者からの多様な質問に答える企画とした。

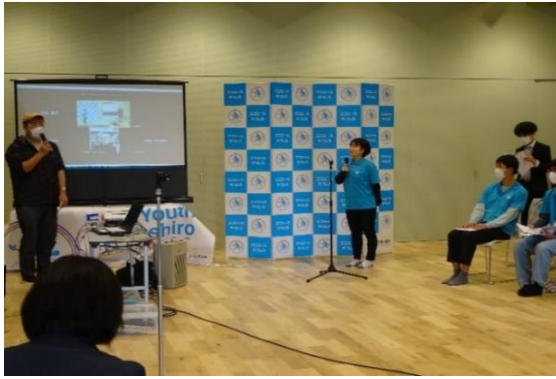
2部は専門家の講師によるカーボンニュートラルの演題に初めて学ぶことも多く、メンバーからの質問も多かった。

3部は卒業生から2期生への思いを語り、下級生から卒業生へお祝いの言葉で閉めた。



おまつりでんでん館伝承ルームにて：左側は講師陣 右側はEYYメンバー





メンバー全員が3分間発表と質問へ答えた



高校卒生へ業祝いのコメント述べる2年生



←地元紙「熊本日日新聞」掲載

## 【18】 オンライン講演会と情報交換会

### ① 海外ユース YEW と干潟保全オンライン情報交換会

その1・期日：5月17日（金）20:00～22:30

場 所：各自宅

参加者：メンバー6人・YEW 3人・通訳ほか4人  
スタッフ2人 合計15人

内 容：第4回アジア太平洋水サミット参加について。動画作品の英文添削指導など

その2・期日：3月17日（金）20:00～21:30

場 所：各自宅

参加者：メンバー7人・通訳他6人・海外ユース5人 合計18人

内 容：EYU:1年間の体験活動の紹介・YEW:国連で提言した内容



### ② 日本各地専門家オンライン講演会

5つの高校からなるエコユースやつしろ会員であるため、学校行事などで活動に参加できないメンバーに対し平日夜に専門家によるオンライン講演会を開催した。

7月・大学受験対策：白水繁彦名誉教授

・光合成菌：古賀碧氏

・河川教育：知花武佳先生

8月・土木工学と河川工学の共有：坂本タカアキ氏

9月・水防災：田脇康信氏

11月・八代球磨川と干拓について：川口芳人氏

12月・藺草：森田洋教授 1月増田龍哉先生



## 【19】その1 高校生による児童への出前授業

1) 八代高校2年生14名が八代小学校5年生の児童への授業を行った。

日時 2022年9月16日(金) 14:00~15:30  
参加者 八代高校1年生14名 担当教諭 2名 八代市八代小学校5年生42名  
担当教諭 2名 会員 2名 合計62名  
場所 八代市立八代小学校 体育館



2) 八代高校1年生34名が松高小学校4年生の児童への授業を行った。

日時 2022年10月28日(金) 14:00~15:30  
参加者 八代高校1年生34名 担当教諭 2名  
八代市立松高小学校4年生136名 担当教諭5名 会員3名 合計180名  
場所 八代市立松高小学校4学年教室(4教室)



## その2 当会による市内学校での出前授業

- ① 水質検査と水生生物調査：八代第八中・宮地小学校：7月1日
- ② 「マイクロプラスチック問題と不法投棄八代高校2年生」：6月10日
- ③ 「マイクロプラスチック問題と不法投棄について」八代高校1年生分別授業6月17日
- ④ 高校生が小学生へ授業を行うことのコーディネート：9月16日
- ⑤ 八代工業高校定時制・教諭への講演：9月9日
- ⑥ 九州大学「うみつなぎ」干潟観察会・出前講座のコーディネート10月7・8日

## 【20】その他体験活動 情報発信と県内外や日本各地で発表・コンテストへ応募

### ◆地元ラジオ生放送に全員出演

エコユース八代メンバーほぼ全員、年間を通じた体験活動の感想や、イベント紹介をラジオ生放送に出演した。体験したことを相手が見えない「声」で表現することの難しさを体験した。単なる参加ではなく、振り返りをすることも出来て、改めて活動を学んだようだ。

\*後日ラジオ出演者が「かじゅめる」情報誌に掲載される。 ➡



## ◆様々なコンテスト・発表会（5件）、応募参加（2件）

### ① いいかわ・いい川づくり

期日 : 9月3日(土) 場所 : オンライン

登壇者 : 吉川穂乃花・渡辺瑠那

発表内容 : 「八代海河川・浜辺の大そうじ大会と不法投棄視察会に参加して」

### ② エコエイトフェスタ（八代市主催）

期日 : 9月23日(土) 場所 : 八代市エコエイト

登壇者 : 上村光さん、塚田くらら、平田莉奈、森下愛弓、吉川穂乃花、渡辺瑠那

発表内容 : エコユース八代の体験学習会に参加して

### ③ 九州河川協力団体連絡会議 IRODORI チーム体験発表会

期日 : 9月3日(土) 場所 : オンライン

登壇者 : 吉川穂乃花・塚田くらら

発表内容 : 「八代海河川・浜辺の大そうじ大会と不法投棄視察会に参加して」

### ④ SDGs キックオフシンポジウム（八代市主催）

期日 : 2023年1月21日(土) 場所 : 桜十字ホール八代大ホール

登壇者 : 上村蒼月、上村光、平田莉奈、吉川穂乃花

発表内容 : エコユース八代の体験学習会に参加して SDGs を考える

### ⑤ 九州大学「うみつなぎ」シンポジウム

期日 : 3月12日(日) 場所 : 八代市お祭り でんでん館にてオンラインで参加

登壇者 : 上村光、平田莉奈、森下愛弓

発表内容 : 干潟を守る活動に参加して

### ⑥ SDGs 未来甲子園 熊本県大会（2次審査選出）

期日 : 3月18日(土)

場所 : 熊本県県劇ホール

登壇者 : 1チーム : 吉川穂乃花、渡辺瑠那 2チーム : 島田和花、米田彩乃

## ◆ユース水フォーラム九州 高校生動画募集に応募

ユース水フォーラム高校生動画応募に、今年度もエコユース八代メンバー2人が2作品応募した。その内容は球磨川や干拓・干潟、八の字堰についての内容。

その動画が、ユース水フォーラム事務局により YouTube に UP されている。

その1 八の字堰 <https://www.youtube.com/watch?v=mE10wcugr2Q>

その2 水の都市八代 <https://www.youtube.com/watch?v=oQRLN6e0D-s>

また会の HP <http://www.ganbarokai.net/> でも情報発信をしている。

様々な専門家から、体験学習会や講演会、ワークショップで学んだことを、3分間動画にまとめた。

作成に当たり、次世代のためにがんばろ会を通して、八代河川国道事務所に資料提供、講話などをいただき作成に臨んだ。

\* 青少年水サミット 2022 in 八代とエコユースやつしろ小冊子を作成し、データは次世代のためにがんばろ会ホームページに掲載しています。ご覧ください。

<http://ganbarokai.net/>



## \* アンケートから ～特にご覧いただきたい意見～ 他感想は会の HP で！

- ・災害が多い半面、とても魅力的な所だと思うので、気になったことは調べていきたい。
- ・八代のいろんな堤防や樋門を見て、洪水対策や歴史的なつながりなど面白い事をたくさん聞けてとても良い経験になった。
- ・球磨川は八代にとって重要な場所。水を守り、生き物の多様性も守り、きれいな球磨川を後世に残していきたい。
- ・八の字堰の今日的役割を知り、川や海や山を守る取り組みが、現在進行形で続いているということを知りました。自然の生態系を守る取組を応援したいし、そのために自分にできることを実勢していこうと思いました。
- ・私はきれいな水や自然をこれからの世代に受け継いでいきたいと思っています。そのため、このような講演会を企画して頂き、本当に感謝しています。有り難うございました。